



# SHOSHINだより

発行:SHOSHIN本部 〒2620804 藤沢市湘南台1-14-4 Tel:0466-45-5555 Fax:0466-43-0439 Email:info@e-shoshin.com URL:www.e-shoshin.com

## 本番直前! ガンバル 受験生

### 高校入試 前期選抜の心得

二〇〇八年度神奈川県公立高校の前期選抜入試の募集期間は一月十八日(金)～一月二十二日(火)となります。このとき、受験生は「志願書」と「自己PR書」の二つの書類を提出することになっています。前期選抜入試では、事前に公表されている「選考基準」に基づき、調査書・面接の結果及び必要に応じて実施した検査の結果を資料として総合的選考が行われます。面接では個々に提出した「自己PR書」の内容が中心となりますので、時間をかけて十分に「自己PR書」を作成しておく必要があります。ここでは、前期選抜入試前の準備と心得を確認しておきましょう。

#### ◎自己PR書について

自己PR書に書く内容は、「①入学を希望する理由」、「②自分のよさについてPRしたいこと」、「③中学校時代の活動について」の三点です。それぞれ六行分のスペースがありますが、たくさん受験生の中からいかに自分を引き立たせアピールできるかがポイントになります。ですから、一行程度のものでは何かアピールできませんので、極力六行分書くようにしてください。

うにするべきでしょう。いずれも、丁寧な字で書くことは言うまでもありません。それでは、①～③の内容についてそれぞれどのように書けばよいのでしょうか。

①は、学校の校風や特色を踏まえて書くべきです。できれば、その学校でしか学べない内容・部活動・学校行事などに焦点をあてて書いていけばベストです。また、将来自分のやりたいこと、進学について、さらに将来の夢などにつなげて書いておけばアピールできるはずです。

②は、長所や特技、自分がやってきた部活や習いごと、取得した資格などについて書くのが一般的です。どうしても月並みな内容になりやすいので、自分の体験談(部活動での試練を乗り越えるためなどのように努力したか、長年続けてきた習いごとで自分がどのように成長したか)などを具体的に書けば説得力のあるものに仕上がります。自分の長所を書くのは少し気恥ずかしいかもしれませんが、堂々とアピールするべきです。

③は、部活動、生徒会活動、地域のボランティア活動など、長期間継続して努力してきたことを取り上げてまとめていればよいでしょう。そのとき、②と同様に体験談や経験などを踏まえて具体的に書いていければよいと思います。②と同じ内容になってしまわないように気をつけましょう。

#### ◎面接・作文・自己表現活動について

前期選抜入試の選考資料のうち、平均

として全体の四割程度が調査書の記載事項、面接・作文・自己表現活動の結果を活用することになりました。学習の記録が全体の六割程度です。面接および必要に応じて実施する検査は一月二十八日(月)・二十九日(火)に予定されています。それぞれの検査は、A、B、Cなど三～五段階で評価したり、段階評価を四〇点満点、五〇点満点などに点数化したります。実際には、鎌倉高校では一〇〇点満点中十一点分、湘南台高校では二百六十八点満点中三十六点分が面接による得点などと事前に公表されています。面接は、質問への応答はもちろんのこと、志望動機や志望校の理解度、学校生活へ向けての意欲などがチェック項目になると思われます。その際、受験生が書いた「自己PR書」を元にして、質問されることが多いようです。書き終えた「自己PR書」は必ずコピーをとって、一つ一つの項目ごとに受け答え内容を考えておく必要があります。

作文・自己表現活動は実施される学校が公表されていますので、「志願のてびき」などで確認しておきましょう。ほとんどが与えられた課題に対して考えをまとめ、作文あるいは短いスピーチで発表する形式です。しっかりと準備しておくことが余裕と自信につながり、面接当日は明るく、ハキハキと受け答えができるのではないかと思います。皆さんの成功を心から願っています。(榎原)



### 中学受験生

年が明けますと、1月受験組から始まり、いよいよ本番に突入します。ご父母の方々も、不安と期待、焦燥と安堵の入り交じったような複雑な気持ちを抱きながら新年をお迎えのことと思います。

でも、ここまでできましたら、勇気をもって立ち向かうしかありません。これからできることは、第一に体調管理。第二に既習内容の総まとめです。さらに、受験日に照準を合わせて少しずつ気持ちを高めていくことが大切です。理・社はまだまだ伸びますから、最後まで手を抜かず頑張りましょう。

また、落ち着いて受験日を迎えるためには、日々の生活がとても大切になります。集中力をもって勉強に取り組み、メリハリをつけた生活を心がけましょう。自信とはこのようところから生まれてきます。

以下、このひと月の勉強法についての各教科からのアドバイスです。ぜひ参考にしてください。

#### 国語 (明智)

勝負は読み取りで決まります。集中力を高めながら読む練習を重ねてください。記述問題に関しては、毎日少しずつ内容をまとめて書くようにしましょう。漢字や語句などについては、既習内容をもう一度まとめておきましょう。

#### 算数 (舟本)

計算と一行問題など、基本的な問題の演習にとどめ、余力は他教科に注ぐのがよいでしょう。本番では満点を目指さないこと、計算問題は時間をかけて慎重に解き、ミスをしなさいこと。自分の得意分野から手をつけることを心がけてください。

#### 社会 (舟本)

社会は残された時間の中でも、まだまだ得点力を伸ばすことができます。受験校の過去問題を一通りやり終えたら、「四科のまとめ」で知識を整理しましょう。時事問題については、近々プリントを配布し、演習を行います。

#### 理科 (榎原)

冬休み講習会で実施している「基本チェック」は繰り返し練習して、用語や名称・はたらきといったことを徹底的に覚えましょう。実験や観察のデータをもとに考える問題が多く出題されていますから、受験する中学はもとより、多くの入試問題に触れて実践力を養ってください。焦らずに、間違えた問題の見直しを徹底してください。

### のびる

あけましておめでとうございます。気がつくと、湘進開設以来もう三十三年目の春となります。三十年前の湘南台は、何も無いガランとした町でした。相鉄ローゼンがぼつんと立ち、バラバラと民家が点在しているだけでした。駅のホームに立つと、富士山が裾野まではっきりと見え、駅前の畑ではヒバリが鳴いていました。この三十年の間に湘南台にあっては、三十年前から今もあるお店といえば、プロッサム・アオキさん、おそばの伊豆屋さん、不動産の三陽商事さんくらいです。それだけ湘南台は発展し、様変わりしてきたということでしょう。そのような中、バブルや少子化、企業化された大手塾の進出に耐え、よくここまで来たものだ、我ながら感慨にふけております。▼私が塾を始めたきっかけの一つに、ある大手進学塾の存在がありました。今も厳然とそびえ立つその進学塾では、ひと教室に五十名もの生徒をおしこみ、質問や補習無しで一方的な授業を展開し、一つの学校の定員をはるかに超える受験生を送り込みます。これはおかしいと思いました。もともと受験生や親の立場に立った受験指導が必要だと感じました。そして、そのような塾があるべきだと思いました。マスプロ的な教育を廃し、生徒一人ひとりと接する地域に密着した塾設立の理念は、今も何一つ変わりません。▼この三十三年間に多くの出会いと別れがありました。失敗も挫折も経営の危機も経験しました。苦しいこともありましたが、子供たちと接し、少しばかりその成長のお手伝い出来る喜びは、お金にはかえられません。年を重ねるごとに、この仕事があります。楽しく感じています。今、湘進には多くの卒業生の二世、卒業生の教師が集まっています。そして湘進の指導理念に賛同してお子さんを通わせてくださる方々がいらつやいます。このような方々に支えられていければこそ、この中小塾が生きてこられたのだと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。▼先に私は「あけましておめでとうございませう」と書きました。実のところ、ちつともめでたいとは思っていません。この言葉は、あくまでも儀礼です。この仕事を始めて以来、私にとって最も大切な正月はありません。むしろ、煩わしいだけです。中学入試は一ヶ月後、高校入試は二ヶ月後に迫っています。お屠蘇気分が浸っていられる時期ではありません。今年も一月一日から中学受験生の正月特訓のために出社します。このことは私にとって休日にも子供たちと接することが出来る喜びでもあります。もしかしらば、自分の喜びのために子供たちを元日から補習にさせているのかもしれない。▼いずれにしても、心から「おめでとう」と言えるのは、受験生が合格の知らせを持ってきてくれたときです。その時までもう少し、めでたさは封印しておきます。本当の「おめでとう」を言うために。(舟本)

# 公立中高一貫教育校について(中)

今回は、公立中高一貫教育校の3つのタイプについてご紹介しました。今回は、公立中高一貫校で行われる適性検査・作文について触れたいと思います。

公立中高一貫校では、私立中学入試のような選抜のための難しい学力検査は行われません。それは、学校教育法の規則によって、公立中学校では入試による学力検査は禁じられているからです。その代わりに、適性検査や作文、面接、実技などを組み合わせた総合評価で入学者を選考しているのが一般的です。

**神奈川の公立中高一貫教育校で実施する検査等は、「適性検査」・「グループ活動」・「作文」・「調査書」の4つです。**これらの検査等を通して、受験生の考える力や表現力に対する能力が見られます。総合的な選考を行うにあたり、適性検査(60%)、グループ活動(20%)、作文(10%)、調査書(10%)と原則となる配分が既に発表されています。

全体の60%を占める適性検査とは、知識だけを問うのではなく、与えられた条件や日常の生活場面からどのように解答を導き出すかという能力を見るものです。神奈川県内の2校では、この適性検査で「表現コミュニケーション力」、「科学・論理的思考力」、「社会生活実践力」という3つの力を見ます。

表現コミュニケーション力では、身の回りで行われていることに対する課題意識があるかを見るとき、会話の流れから他者の考えや発言を類推し、わかりやすく説得力のある表現ができるかを見ます。科学・論理的思考力では、問題文に示された資料を活用しながら、論理的に分析し、順序立てて説明できる力を見ます。社会生活実践力では、身の回りのことや社会的な事柄の説明を受け、自分の生活と結びつけ、課題解決に向けた考えに発展させていくことのできる力を見ます。

他県の過去問題の出題傾向を見ますと、環境・福祉・国際化など私たちの身の回りの社会問題を取り上げているものが圧倒的に多いようです。そこに算数や理科、社会を組み合わせた総合問題形式になっています。また、ほとんどの問題が会話形式になっているので、問題文自体が長い、読み取る力が必要になってきます。

作文では、中等教育学校で学ぼうとする意欲や目的意識を見られることが一般的ですが、中には課題に対して「なぜそうなるのか」、「なぜそう思うのか」といった考えを述べさせるものもあります。

このように、公立中高一貫校で課される適性検査・作文は知識の詰め込みだけで対処できないものばかりです。日頃から世の中の動きをニュースや新聞で確認したり、身の回りの問題などを学校で習った内容をもとに自分でいろいろと考えたり、自分の考えをまとめたりする練習が必要だと思えます。

次回は、このような検査をパスするためにSHOSHINの公立受験コースではどのようなことをして対策を立てていくのかについて触れたいと思います。(二宮)

## 【公立高校前期選抜・面接内容】

面接内容	湘南	鎌倉	七里ガ浜	大船	藤沢西	深沢	湘南台	大清水	藤沢	藤沢総合	茅ヶ崎北陵	鶴岡	寒川	大和南	港南台	栗原	藤沢工科
志望理由 / 志望校をいつ決めたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校のホームページを見たことがあるか			○														
この学校の印象(この高校の気に入ったところ)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他校との違い(この高校の特色など、良いところ&悪いところ)			○				○										○
この学校だけでしかできないと思ったこと					○												
総合学科(単位制)をどう考えているか										○							
学校を見に来たか / 他校の見学に行ったか	○			○				○	○		○						○
高校の文化祭・体育祭などに行ってみての感想								○	○								
この学校の校訓								○									
高校までの交通手段と所要時間								○	○	○	○					○	○
この高校に入学してからやりたいこと	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高校で委員会・部活に入るなら何に入りたいか			○					○	○								○
この高校で勉強以外に何が学べるか(何を学びたいか)	○										○						
中学校時代の部活を高校でも続けるか											○						
選択科目で何をとりたいか								○									
得意な教科・苦手な教科とその理由		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
苦手教科をどのように克服しようとしたか								○									
中学時代やってきたこと	○																
委員会活動をやってきたか				○	○												
部活動・委員会活動で大変だったこと	○	○									○						
部活動をやってきたか				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボランティア、部活動、学校活動を通して何が学べたか	○																
部活動で一番印象に残っていること(成績など)		○															○
学校外活動について(ボランティア活動など)																	○
中学校生活で一番印象に残ったこと(一番の思い出)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中学校生活で頑張ったこと(力を入れたこと)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合的な学習では何をやったか									○								○
修学旅行で印象に残っていること									○								
1日の勉強時間はどれくらいだったか											○						
卒業後の進路について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
将来の夢 / 夢に近づくために今やっていること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
具体的にやりたい大学はあるか		○								○							
将来どんな職業に就きたいか										○							
最後に言いたいことは(自己PRなど)		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
今、興味のあること(趣味について)			○														
国際理解について / 自然科学について		○											○				
自分の性格について(長所・短所など)					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
家族構成										○							
自己PR書の内容について		○								○	○	○	○	○	○	○	○
環境についてどう考えるか			○									○					
社会人になるために必要だと思うこと																	○
今まで生きてきた中で自主性・自立を感じたことは			○														
中学で学んだこと(自分の長所)を高校でどのように生かせるか											○	○					

## 2008年度教室説明会

2008年度の新規入室希望の方を対象に、指導内容等をご説明いたします。

**中学受験SHOSHINコース説明会**

1月24日(木) 会場:六会スクール

**小学部SHOSHINコース説明会**

1月25日(金) 会場:湘南台スクール

**中学部SHOSHINコース説明会**

1月24日(木) 会場:湘南台スクール

※時間はいずれも午後2時~3時になります。

小3・国語算数2科合計			小6・国語算数2科合計			中1・数学英語2科合計		
1	村山 美帆	六会 185	1	阿部 俊介	秋葉台 163	1	矢部 泰良	御所見 157
2	福岡 拓海	秋葉台 176	2	清水 裕貴	湘南台 157	2	桐ヶ谷 悠	高倉 154
小4・国語算数2科合計			小5・国語算数2科合計			まとめのテスト&公開月例 テスト上位者氏名一覧		
1	中澤 佳音	滝の沢 200	1	中島 悠太	亀井野 196			
2	高野 恵未依	亀井野 168	2	中村 有紀子	湘南台 183			



## お知らせコーナー

- 1月 6日(日) ・中1、中2冬休み講習会テスト
- 1月 7日(月) ・中3冬休み講習会テスト(県模試最終回)
- ・小学部湘進コース冬休み講習会テスト
- ・4年受験、5年受験クラス学力判定テスト
- 1月14日(月) ・小学部湘進コース育伸学力テスト(2月号実施)
- 1月15日(火) ・5年受験クラス父母面談(~18日)
- 1月24日(木) ・中1月例テスト(火・木コース生)
- ・中2月例テスト(火・木コース生) 国理社
- 1月25日(金) ・中1月例テスト(水・金コース生)
- ・中2月例テスト(水・金・Sコース生) 国理社
- ・5年受験クラスYT月例テスト⑧
- 1月26日(土) ・4年(新5年)受験クラスYT組分けテスト
- ・中2月例テスト(全クラス) 英数
- 1月27日(日) ・5年(新6年)受験クラスYT組分けテスト

死刑制度をどう考えるか  
三上 尚美 (湘南台小 六年)

死刑は、あつた方が良いのか、ない方が良いのか、どちらが良いのだろうか。

罪を犯してしまった人だけではなく、「死刑」には、罪を犯してしまつた人を死刑にしてほしい人、何年か入る屋に入つても、「死刑」だけはやめてほしい人、その二つの内どちらかを決めなければいけない人、いろいろな人がいる。

死刑か、一生ろう屋に居るか。私が罪を犯してしまつた人、その家族の立場なら、一生ろう屋にいた方が、生きていられるので良いと思う。でも、反対に、その罪を負つた人によって、友人や家族が殺されたりしたら、死刑を願うだろう。死刑を決める人なんて、両方の立場の人の人生、運命を決めるものだろうし、死刑が決まつた時、人を殺さないといけない人たちもいる。

私は、死刑を良い事だとは思わない。それに、たとえ死刑にしてほしい人が死んだら、被害者側の人たちは、変わるだろうか。喜ぶのだろうか。もしかしたら世の中には、死刑で自殺をしたくて人の命を落とす人だつて、いるかもしれない。死刑でいい思いをする人は、多くはないだろう。被害者側の人たちも、パーティーを開いて喜ぶ様な人はいないだろう。死刑があつた方がよいとは思わないうい、いや、思いたくない。が、死刑があるという事は、死刑をなくす事のできない様な世の中があるという事の証でもあるのだろうか。



- ・中1は先月と二位、三位が入れ替わり、アップ数では細野君が一位になりました。
- ・中2は平井さんが今月も一位の座を守りました。上位の3人は変わっていませんでした。
- ・中3は藤野君がトップに返り咲き、アップ数でも一位になり二冠を達成しました。

中学1年ポイントベスト3		
1	馬場 竣平	湘南台 235
2	木村 貴一	御所見 210
3	河野 智樹	御所見 206

中学2年ポイントベスト3		
1	平井 恵梨	六会 566
2	水木 秀哉	六会 510
3	大當 卓也	湘南台 469

中学3年ポイントベスト3		
1	藤野 脩平	滝の沢 614
2	小倉 あかり	六会 591
3	水木 彩乃	六会 546

中学1年アップ数ベスト3		
1	細野 昂樹	秋葉台 32
2	安達 萌夏	秋葉台 25
3	高尾 愛理	秋葉台 21

中学2年アップ数ベスト3		
1	宮本 朋佳	六会 112
2	岩田 梨佳	六会 77
3	平井 恵梨	六会 64

中学3年アップ数ベスト3		
1	藤野 脩平	滝の沢 78
2	川村 凧紗	長後 62
3	木村 萌	御所見 60